

富木医療器**DX**方針

～これからも地域医療のベストパートナーであり続けるために～

- 当社は地域に密着することで医療現場を支え、お客様の支持を得てきました
- 一方、医療分野でもデジタル化は様々な面で加速、急速に変化しています
- これからも地域医療に貢献していくために、当社においてもデジタル化による変革が不可欠と考えます



- まずはデータ化・デジタル化を進め事業を強靱化・効率化、その先にデジタル変革(DX)へと取り組んでいきます
- 「正常進化するためにDXが不可欠」というメッセージも込め、当社の経営理念をDXの観点で再解釈したDXビジョンを策定します

- 当社の経営理念を再解釈し、以下のDXビジョンを策定します

経営理念

DXビジョン



感謝のこころと誠意ある仕事で、
お客様の期待を超える



提供サービスの品質向上・医療
現場のDX貢献：**営業DX推進**



すべての社員が仕事を通じ、人と
して成長することで幸せを求める



DX観点での社員への成長機会
提供：**DX人材育成**




企業活動を通じて、地域医療に貢
献し続ける文化を育てる



地域医療を持続的に支えていく
ための業務変革：**社内DX推進**

- ビジョンの各柱について、以下のステップで段階的に推進します

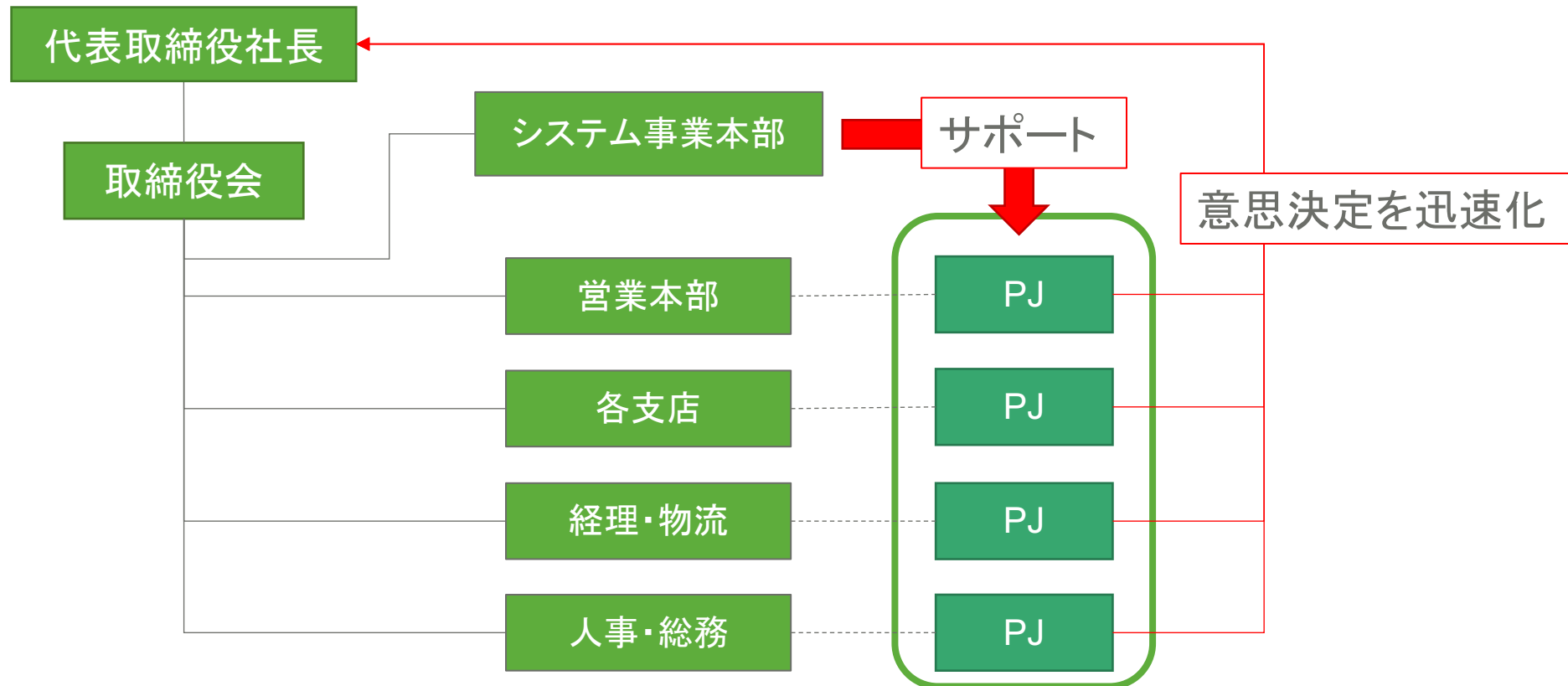
	Step1: データ蓄積・標準化	Step2: データの利活用・効率化	Step3: デジタル変革・最適化
営業DX推進	SFAツールの導入・定着による営業活動の定量化	定量データに基づいた品質向上施策の立案・実行	データ知見を基にした新規サービスの開発・提案
DX人材育成	DXへの意識醸成・行動変化	内製開発や要件定義の可能なDX人材を複数名養成	継続的にDX人材を育成可能な体制を構築
社内DX推進	各種管理パッケージシステムの導入による標準化	システム間連携業務の改善・効率化	業務全体の見直し・再編



各項目でステップ1:1年以内、ステップ2:2-3年内、ステップ3:4-5年以内に達成を念頭に推進します

- 営業DX推進
 - ステップ1:営業活動の95%以上をSFAで管理
 - ステップ2:各営業部課の計画・施策はすべてSFAを利用して立案・進捗確認
 - ステップ3:SFA示唆をもとに、提供サービス見直しor新規サービス開発を5個以上実施
- DX人材育成
 - ステップ1:すべての社員がDX関連取り組みに関与する(システム利用者としても含む)
 - ステップ2:内製開発や要件定義の可能な社員を6名以上養成
 - ステップ3:継続的にDX人材を育成可能な体制・評価制度を構築
- 社内DX推進
 - ステップ1:複数部署の業務についてそれぞれ管理システムを導入・利用定着化
 - ステップ2:各システム間連携について複数のツール開発・運用で効率化が図られている
 - ステップ3:業務全体を俯瞰した再編案を構築・着手できている

- 2022年よりDX推進部署としてシステム事業本部を立ち上げました
- 各DX課題はシステム事業本部サポートの下、主管部署を設けPJ化します
- 各プロジェクトは社長直轄とすることで、意思決定を迅速化します



No.	取り組み	目的	対応時期
1	SFAツールの導入	営業活動の定量化、対応の迅速化	2022年6月
2	グループウェア刷新	SFAツールとの連動・活用	2022年10月
3	WEB発注の拡大	電話・FAX注文からの移管によるミス削減・効率化	2022年8月～
4	RPA導入	人手作業の整理・移管による業務効率化	2022年12月予定